

04

事業戦略

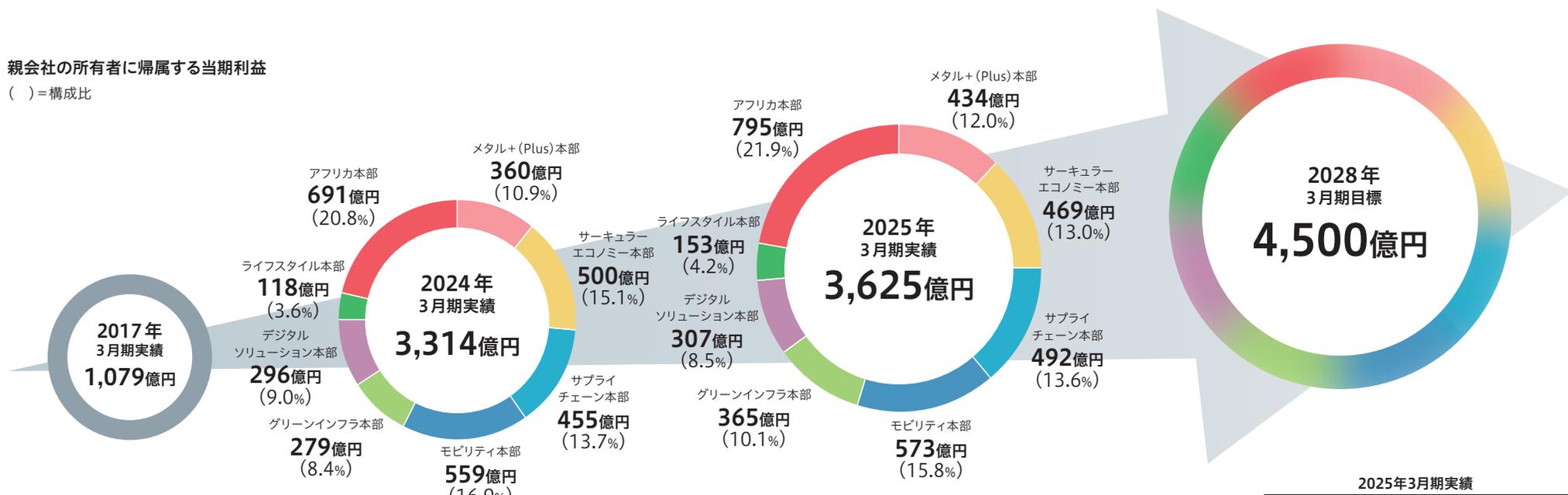
- P.25 本部別データ
- P.26 メタル+ (Plus) 本部
- P.27 サーキュラーエコノミー本部
- P.28 サプライチェーン本部
- P.29 モビリティ本部
- P.30 グリーンインフラ本部
- P.31 デジタルソリューション本部
- P.32 ライフスタイル本部
- P.33 アフリカ本部



本部別データ

親会社の所有者に帰属する当期利益

() = 構成比



本部のミッション

		2025年3月期実績	
		売上総利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
メタル+ (Plus)本部	“大胆な+ (Plus)”で、サステナブルな未来をつくる	1,096 億円	434 億円
サーキュラーエコノミー本部	新しい資源循環のあり方をデザインし、未来の子供たちに、より良い環境・新しい豊かさを届ける	1,119 億円	469 億円
サプライチェーン本部	サプライチェーンを守りつなぐ機能を更に磨きあげ、地政学リスクの課題やグローバルで多様化するニーズに幅広く対応する	1,317 億円	492 億円
モビリティ本部	新たなビジネスモデルを構築することで、移動を通じてこれからの社会に幸せを量産していく	1,668 億円	573 億円
グリーンインフラ本部	再生可能エネルギーと機械ビジネス現場力のシナジーにより持続可能な地球環境を支える社会インフラの実現に貢献していく	1,037 億円	365 億円
デジタルソリューション本部	技術革新、デジタル変革を常に先取りし、デバイス並びにソフトの活用で次世代モビリティ社会への課題解決を始めとしたソリューションビジネスを一層拡大していく	1,157 億円	307 億円
ライフスタイル本部	Economy of Lifeビジネスの推進本部として、当社ならではの事業を創出する	643 億円	153 億円
アフリカ本部	アフリカNo.1プレゼンスを更に加速し、変化を着実に先取り、アフリカの課題解決と未来の発展に貢献していく	3,255 億円	795 億円

事業戦略

メタル+ (Plus) 本部

本部CEOメッセージ

サステナブルな未来を創り出し、全てのステークホルダーから選ばれ続けるため、私たちは素材産業のサプライチェーンに高次元の付加価値=+(Plus)を創造していきます。



メタル+ (Plus) 本部
CEO*1

廣部 貴巳

事業戦略

- 新技術の活用でオペレーションを高度化し、モビリティ向け素材を中心とした流通加工事業の競争力を強化し、グローバルサウスへ展開
- アセット最適化によるリソースシフトを進め、素材およびサプライチェーンのグリーン化を実現するとともに、次世代エネルギー（風力、太陽光、水素、半導体等）領域の拡大や新興地域の発展に貢献

事業内容

モビリティ素材ソリューション SBU*2

- モビリティ向け素材（鋼板、非鉄金属等）の販売・流通加工事業
- カーボンニュートラル（CN）実現に向けたグリーンサプライチェーンの構築およびソリューション提供

メタルソリューション SBU

- 次世代のエネルギー・インフラ関連を含む幅広い業界への素材の販売・流通加工事業
- CN実現に向けたグリーンサプライチェーンの構築およびソリューション提供

*1 Chief Executive Officer

*2 Strategic Business Unit

市場環境

デジタル・新技術の発展、新興地域の成長、ブロック経済の台頭、地政学リスクの高まり、脱炭素社会に向けた対応等、先行きは不透明です。お客さま・パートナーからのコスト軸・機能軸での競争力確保に対する従来のニーズに加え、サプライチェーンの高度化やグリーントランスフォーメーション（GX）を可能にする商品・機能の新たなニーズ拡大が見込まれています。

事業展開

当社が培ってきた加工事業群
世界10カ国、33拠点でビジネスを展開
● 事業拠点数（計33拠点）



TOPICS

電解鉄メーカーのElectra Steel社に出資

鉄鋼サプライチェーン全体のグリーン化への取り組みとして、米国のElectra Steel社へ出資しました。同社の電解鉄の製造方法は、極めて低い温度での精錬が可能であるため、CO₂排出量の大幅削減に貢献できます。この強みを活かし、鉄鋼業界およびそのエンドユーザーのCN実現を支援します。



VOICE

Electra Steel社は、豊田通商がClean Iron*3の商業化に向けた戦略的パートナーとなったことを光栄に思います。豊田通商のグローバルな事業展開と卓越した評価は、当社の事業拡大にとって極めて貴重なリソースになると期待しています。

*3 グリーンスチールを製造するための原料である低炭素鉄源の一つであり、99%純鉄



Electra Steel 社
Co-founder and CEO
Sandeep Nijhawan



本部の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.toyota-tsusho.com/company/business/metal.html>

事業戦略

サーキュラーエコノミー本部

本部CEOメッセージ

動静脈一貫のサプライチェーンを構築することによって、循環型社会の実現に貢献し、未来の子供たちにより良い地球や新しい豊かさを届けたいです。



サーキュラーエコノミー本部CEO
佐合 昭弘

事業戦略

- 希少・重要資源の開発から素材・部材の調達と供給を行う動脈ビジネスならびに使用済み製品(再生資源)の回収および再資源化を行う静脈ビジネスを一貫で行い、循環型社会の実現に貢献

事業内容

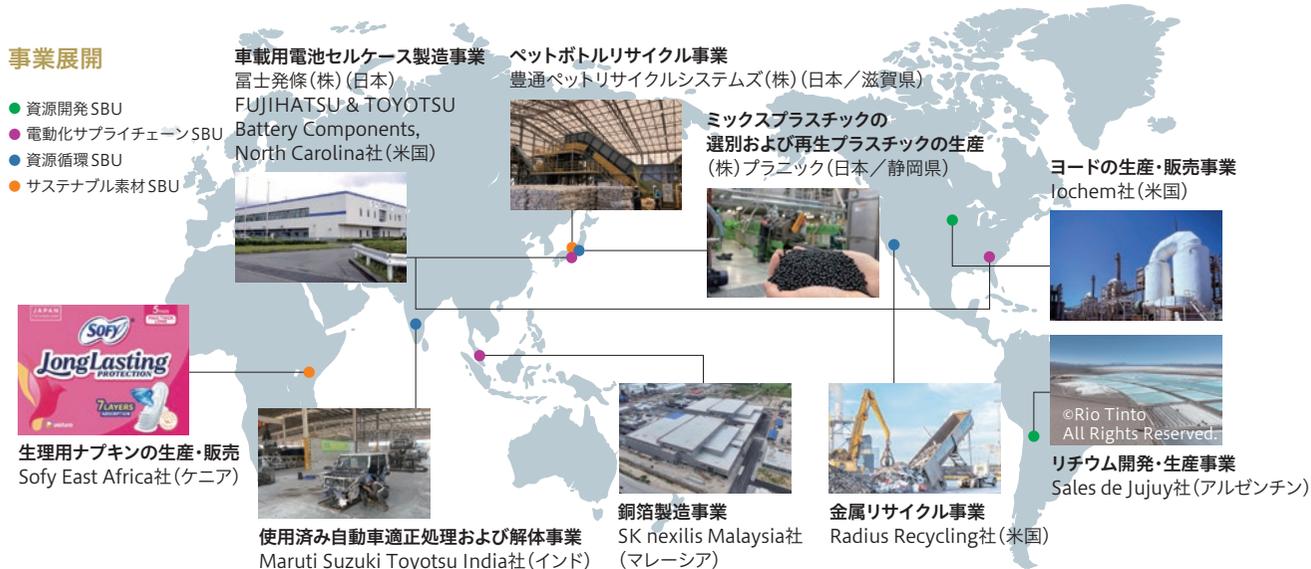
- 資源開発SBU**
 - 自動車の電動化に欠かせないクリティカルメタル(必須金属)、生活に欠かせない希少無機資源の開発・中間製品の製造事業運営
- 電動化サプライチェーンSBU**
 - 電池・電子材料、関連製品の輸出入・三国間・国内販売、関連する事業企画・運営
- 資源循環SBU**
 - 資源循環を見据えた新しいモノづくりを支える素材供給から、再生資源回収、再資源化、リサイクル原料の製造までの動静脈一貫機能の提供
- サステナブル素材SBU**
 - 洗剤、衛生材料、医薬品、包装・コーティング材の原料・製品の販売、製造事業体の運営、バイオケミカル取り扱いやプラスチック・溶剤リサイクル事業の運営・推進

市場環境

脱炭素社会の実現に向けた対応がビジネス継続の必須条件となりつつある中、当本部が強みとする動静脈一貫ビジネスのグローバル展開には、お客さまから高い期待が寄せられています。その期待と同時に、自然災害や地政学リスクを想定した事業継続計画(BCP)対応、モビリティ変革等の事業変化への対応も求められており、地域最適での機能構築のニーズ拡大も見込まれます。

事業展開

- 資源開発SBU
- 電動化サプライチェーンSBU
- 資源循環SBU
- サステナブル素材SBU



TOPICS

北米におけるバッテリー製造事業

トヨタ自動車(株)の北米統括会社であるToyota Motor North America社(TMNA)と共にバッテリー製造会社として設立したToyota Battery Manufacturing, North Carolina社(TBMNC)は、生産準備を完了し、2025年4月から電動車向けにバッテリーの出荷を開始しました。



VOICE

TBMNCは、トヨタの北米における電動化戦略の中核を担っています。EV用バッテリーの生産は、北米でのトヨタの未来を左右し、高まるお客さまの期待を超える上で不可欠です。当社は、資材のロジスティクス、正極活物質のリサイクル、そして重要鉱物の調達における豊田通商の強力なサポートを頼りにしています。



Toyota Motor North America社 General Manager
Rick Howard

事業戦略

サプライチェーン本部

本部CEOメッセージ

お客さまやサプライヤーのサプライチェーンを守り、つなぐ機能をさらに磨き上げ、グローバルで多様化するニーズに幅広く対応することを目指します。



サプライチェーン本部
CEO

中山 弘揮

事業戦略

- 本部 Vision「『つくる』『はこぶ』『つなぐ』*を変えてサプライチェーンの進化で未来社会への責任を果たす」を実現
- さまざまなお客さまやパートナーに寄り添い、デジタル技術等の利活用を通じて、サプライチェーンの領域と機能を拡大し、新たな価値を創出

* つくる：グローバル規模でモビリティ部品の製造・加工事業やバッテリー分野の事業開発、リサイクルしやすい商品開発を推進、さらに製造時・廃車時に発生する端材(エアバッグ等)を回収、再資源化する循環型モノづくりを推進します。
はこぶ：物流最適化や倉庫内オペレーション自動化、輸送に使用する梱包資材の開発・再活用等を進め、物流領域におけるCO₂削減を推進します。
つなぐ：オンライン物流プラットフォームを活用しサプライチェーンを可視化。災害や地政学リスク等に対するソリューション提供やデータの一元管理化を実現し、モビリティ産業のみならず、他産業のお客さまの課題解決に貢献します。

事業内容

- | | |
|--------------------------|---|
| グローバル
部品SBU | ● 部品の輸出入、海外間調達に対する混載物流、需給管理機能を付加した商物一体の最適サプライチェーン構築・運営 |
| ロジスティクス・
モジュール
SBU | ● お客さまの生産に直結した物流センター・輸送事業、空港運営、海外におけるモビリティ部品の組み付け、海外進出企業を支援するテクノパーク事業 |
| 部品・用品・
機能品SBU | ● モビリティ用内外装部品・用品の材料調達、生産、販売、設計・開発、サービスの開発、燃料電池等の環境ソリューションの提供 |
| サプライチェーン
事業推進部 | ● GHG削減事業、再生梱包資材の販売、資源循環事業等 |

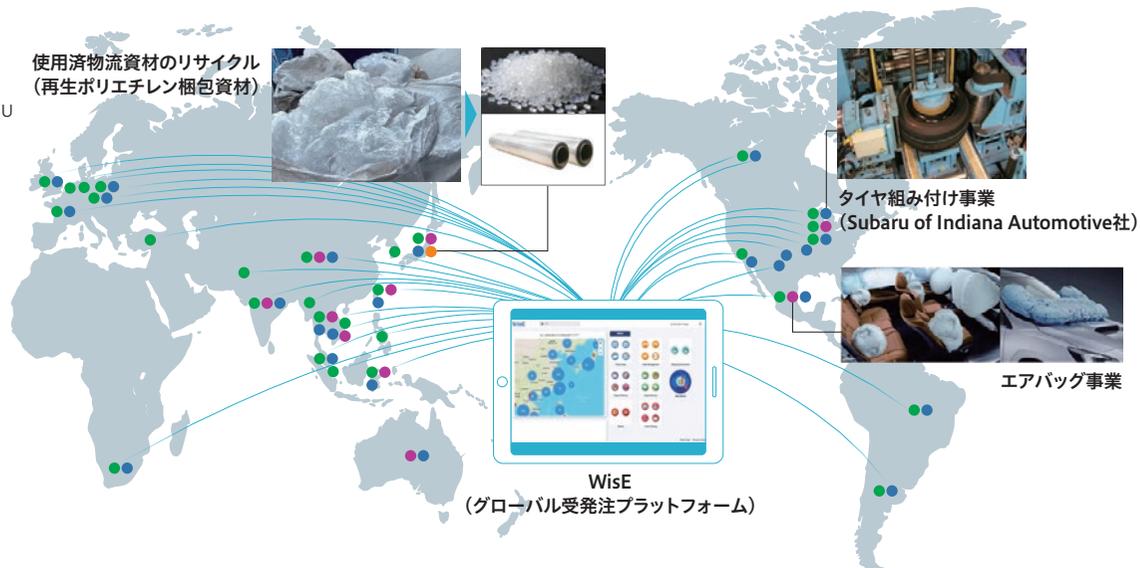
市場環境

モビリティ産業では、サプライチェーン環境の複雑化、地政学リスクの顕在化、地域競争環境の変化、環境規制強化の進展、電動化による競争環境の変化(新しいサプライヤーの台頭)が加速しています。

事業展開

- グローバル部品SBU
- ロジスティクス・モジュールSBU
- 部品・用品・機能品SBU
- サプライチェーン事業推進部

使用済物流資材のリサイクル
(再生ポリエチレン梱包資材)



TOPICS

ラストマイル配送事業

自動車業界を中心とした豊田通商グループの物流ネットワークと、温度管理や緊急配送等の付加価値配送機能を持つ出資先の(株)ロジクエストのラストマイル配送ネットワークを組み合わせ、幅広い業界での物流最適化を図ります。



VOICE

ラストマイル配送の最適化とは、単なる業務効率ではなく、「社会インフラを支える」という本質的な使命を担っていると考えます。私たちは豊田通商と共に、脱炭素化や物流改革といった社会課題に真摯に向き合い、次の時代へとつながる価値の提供を目指していきます。



(株)ロジクエスト
代表取締役
三ツ木 研二

事業戦略

モビリティ本部

本部CEOメッセージ

「新たなビジネスモデルを構築することで、移動を通じてこれからの社会に幸せを量産していく」をミッションに掲げ、豊かなモビリティ社会の実現に貢献していきます。



モビリティ本部CEO
原田 繁

事業戦略

- 自動車販売事業に加え、バリューチェーン関連事業・モビリティサービス事業を通じて顧客層を拡大させ、新たな商材の取り扱いとネットワーク構築により事業を拡張
- 電動化・知能化等の技術革新を捉え、安心安全で、環境に優しい次世代モビリティ社会を実現する新たなビジネスモデルを創出

事業内容

- トヨタSBU**
- トヨタ車両・補給部品の輸出入、車両組み立て、卸売・小売事業
- マルチブランドSBU**
- 商用車・乗用車・産業車輛等の輸出入、卸売・小売、架装、物流ソリューション事業
- バリューチェーンSBU**
- 中古車、販売金融、アフターサービス、その他バリューチェーン関連事業

市場環境

モビリティ社会を取り巻く環境においては、脱炭素化への取り組みが加速するとともに、自動車の電動化、自動運転をはじめとする技術革新が進んでいます。当本部の事業展開国・地域では、昨今の不安定な国際情勢による地政学リスクが高まっています。このような市場環境の中で、各国・地域の社会課題の解決につながるモビリティサービスが求められています。

事業展開

- 事業展開国・地域(48カ国・地域)
- 地域統括拠点(6拠点)
- 出資事業体数(計110社)



TOPICS

カンボジアでの車両組み立て生産

Kong Nuon Group社と共に、Toyota Tsusho Manufacturing (Cambodia)社を設立し、2024年5月より「ハイラックス」と「フォーチュナー」の現地組立生産を開始しました。

モビリティ産業の発展を通じて同国の経済、社会の発展に貢献していきます。



VOICE

本プロジェクトはカンボジアにとって大きな節目となるものです。政府やお客さまからの大きな期待を背負い、無事故・無遅延で生産開始できたことを誇りに思います。

ステークホルダーの皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。現地生産を通じてより良い社会づくりに貢献していきます。



Kong Nuon Group社
CEO

**Oknha
Kong Nuon**

事業戦略

グリーンインフラ本部

本部CEOメッセージ

「カーボンニュートラルといえば豊田通商」と認めていただけるよう、お客さまのお困り事を解決し続ける“Be the Right ONE”な本部を目指します。



グリーンインフラ本部
CEO
国弘 浩介

事業戦略

- 風力や太陽光等のグリーンエネルギーの開発・供給を通じ、業界を先導する志でお客さまのCN化やサステナブルな社会づくりに貢献
- CO₂排出量低減に寄与する設備の選定・提案・据付等のグリーンな社会インフラの構築に資する事業展開

事業内容

- 機械インフラ SBU**
- モビリティ産業向けを中心とした製造・物流設備、部品等の国内外取引および付帯する設計・修理・据付工事等の一貫したサポート機能の提供
 - エネルギー・港湾インフラおよび建設機械等の社会インフラ整備・事業運営

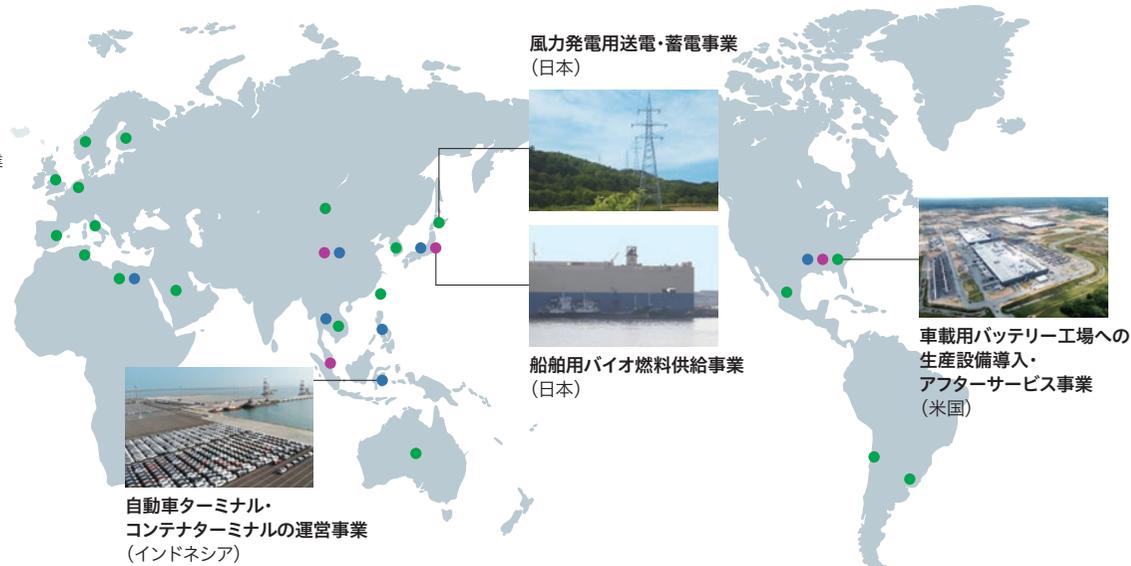
- グリーンエネルギー SBU**
- 風力、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギー開発・事業運営
 - LNG、バイオディーゼル等のCN燃料供給事業

市場環境

米国トランプ政権の関税政策や各国での政権交代により、CNや自動車の電動化へのスタンスに変化が見られます。日本国内ではデータセンターの新增設や自動車の電動化により電力需要が増加、欧米では生成AIやEVの普及が電力消費を押し上げ、新興国でもエネルギー需要が急増、再エネ市場が急拡大しています。モビリティ産業では生成AI活用加速・実装化や製造新工法活用が本格化しています。

事業展開

- 電力事業
- 燃料事業
- 機械・プラント事業



TOPICS

(株)ユーラスエネルギーホールディングスとテラスエナジー(株)の統合

2024年4月にテラスエナジー(株)を完全子会社化し、2025年4月1日に同社と(株)ユーラスエネルギーホールディングスを経営統合しました。国内No.1の風力・太陽光の発電容量を有する発電事業者として、グローバルに選ばれ続ける再生可能エネルギー事業会社への飛躍を目指します。



VOICE

再エネ領域に大きな強みを持つ2社の仲間が、共に知識・経験を持ち寄り互いに学び合えば、一層シナジーが創出できると考えています。

これから豊田通商グループのCN戦略の「核」としてグループをリードし、お客さまや地域社会から選ばれ続ける存在を目指し果敢に挑戦し続けます。



(株)ユーラスエネルギーホールディングス 執行役員
鈴木 ゆづる

事業戦略

デジタルソリューション本部

本部CEOメッセージ

「エレクトロニクスで人々の可能性を広げたい」「世の中を快適で、楽しく、豊かにしたい」と考えています。世界中のお客さまやパートナーと共に「優しい未来」を実現します。



デジタルソリューション
本部CEO
松崎 英治

事業戦略

- 技術革新やデジタル変革を常に先取りし、デバイスとソフトウェアの活用で次世代モビリティ社会が抱える課題の解決をはじめとしたソリューションビジネスを一層拡大

事業内容

デバイス&ソフトウェアソリューション SBU

- 自動車・家電・情報通信機器・産業機器等に組み込まれる電子デバイスをグローバルに販売
- CASE*実現に向けたハードウェア・ソフトウェア・サービスの開発と販売

ICTソリューション SBU

- ICTに関する製品・サービスをグローバルに販売
- コネクティッドカーの安全を支える車両セキュリティ事業、車載ソフトの無線配信事業の推進
- AI開発等に資する演算リソース、各種ツールの販売

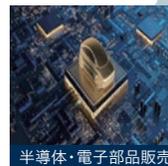
* Connected, Autonomous, Shared, Electric

市場環境

当社グループを取り巻く環境の変化やテクノロジーは急速に進化しており、デジタルやAIは日常で当たり前に使われるようになりました。半導体やAI等の進化に伴い、ビジネスモデルや価値提供の対象は「モノ(ハード、商材)」に加えて、「コト(ソフト、サービス)」に変化しています。

事業展開

- デバイス&ソフトウェアソリューションSBU
- ICTソリューションSBU



半導体・電子部品販売



組み込みソフト開発



コネクティッドサービス



エンタープライズIT



サイバーセキュリティ

TOPICS

エレマテック(株)の完全子会社化

2025年1月に、電子材料、電子部品、設備等の販売、加工・組立、設計および製造受託を行うエレマテック(株)を株式会社公開買付けにより完全子会社化しました。今後は商材・市場・地域・機能・人材交流等、あらゆる面での連携を一層強化し、豊田通商グループとしてさらなる企業価値の向上に努めていきます。



VOICE

2011年の資本業務提携以降、連携を続けてきましたが、今回の完全子会社化により、当社創業以来80年で培ってきた7,200社の仕入先・6,200社の顧客基盤等のさまざまな強みを豊田通商とのシナジー活動によりさらに深化させ、当社の持続可能な成長につなげていきます。



エレマテック(株)
代表取締役社長
大越 浩一

事業戦略

ライフスタイル本部

本部CEOメッセージ

6つの事業分野で幅広いEconomy of Lifeビジネスをグローバルに展開し、人々の暮らしを支え、育み、つなぐことができる“Be the Right ONE”な存在となることを目指します。



副社長
ライフスタイル本部
CEO
綿貫 辰哉

事業戦略

- 食料資源の確保や穀物の安定供給体制の構築に加え、食品原料の販売・加工機能を強化し、持続可能な社会づくりに貢献
- 保険、繊維、住環境、ヘルスケア・メディカル事業を通じて、心身の健康増進や生活の質の向上に取り組み、Well-beingの実現に注力

事業内容

フード&アグリビジネス SBU

- 穀物分野: 穀物の輸出入、国内穀物サイロ等
- 食品分野: 食品・農畜水産物輸出入卸および加工、国内給食等

ウェルネス SBU

- 保険分野: 国内外保険代理店、保険仲介等
- 繊維分野: 原料からテキスタイルおよび繊維製品の企画・生産・物流・販売
- 住環境分野: 海外ホテルレジデンス開発・運営、企業保有不動産の有効活用、賃貸・分譲マンション開発・運営、オフィス・工場の改修工事、オリジナル家具の企画・販売等
- ヘルスケア・メディカル分野: 海外医療関連、リハビリ、介護用品等

市場環境

現代社会はグローバル化の進展により、ますます複雑化し、人々のライフスタイルも急速に変化しています。そのような変化の中でも、心と身体の健康を保ち、生活の質を向上させることの重要性がより高まっています。当本部は衣食住等の生活に関わるさまざまな分野において、人々が安心・安全で快適に過ごせる環境を提供することを使命としています。

事業展開

- 穀物分野
- 食品分野
- 保険分野
- 繊維分野
- 住環境分野
- ヘルスケア・メディカル分野



医薬品流通事業
Skites Pharma 社
(インド)



ホテルレジデンス事業
TTL RESIDENCES 社、
Toyota Tsusho Real Estate Cikarang 社
(インドネシア)



クロマグロ養殖・販売事業
(株)ツナドリーム五島、
(株)ツナドリーム沖縄(日本)



廃漁網リサイクル事業(日本)



穀物集荷・物流事業
NOVAAGRI INFRA-ESTRUTURA
DE ARMAZENAGEM E ESCOAMENTO
AGRICOLA 社(ブラジル)



保険仲介事業
HYLANT & TOYOTSU
Insurance Services 社(米国)

TOPICS

インドでの病院「SAKRA WORLD HOSPITAL」の運営・医療周辺サービス事業

経済成長を続けているインドでは、セコムグループとの連携で現地に病院を開設し、地域の皆さまの医療アクセス向上に貢献しています。また、医薬品流通やリネンサプライ等の医療周辺サービス事業も展開し、快適で健やかなインドの未来社会の実現を目指しています。



VOICE

2014年の病院開設以来、豊田通商とセコム医療システム(株)は共同で事業を行っています。インドでの医療サービス提供は大きなチャレンジでしたが、当地で長い事業実績を有する豊田通商との強固なパートナーシップにより地域に根差した質の高い医療を提供し続けることができ、大変心強く思っています。



セコム医療システム(株)
常務取締役
牧 卓



本部の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.toyota-tsusho.com/company/business/lifestyle.html>

事業戦略

アフリカ本部

本部CEOメッセージ

当本部のVision「WITH AFRICA FOR AFRICA」の下、CFAO社と共にアフリカ全土でビジネスを推進し、未来の子供たちのために、アフリカのさらなる発展に貢献しています。



アフリカ本部CEO
Richard Bielle

事業戦略

- 4つの異なる事業領域(モビリティ、グリーンインフラ、ヘルスケア、コンシューマー)と、アフリカ全54カ国でのビジネス展開の掛け合わせにより、着実な成長を実現
- 全ての事業領域において、輸入から生産、小売までのバリューチェーンを構築し、高品質な製品とサービスを提供

事業内容

- モビリティ SBU**
 - 新車・中古車・産業車輛等の輸出入・卸売・流通・小売・リース・アフターサービス、車両組み立て事業、自動車生産支援事業
- グリーンインフラ SBU**
 - 再生可能エネルギー開発・事業運営、電力・港湾等の社会インフラ開発
 - ソーラーパネル・エレベーター・冷房機器等の民間企業向け各種技術サービス
- ヘルスケア SBU**
 - 医薬品の製造・卸売・小売
- コンシューマー SBU**
 - リテール事業の開発(ショッピングモール、スーパーマーケット等)、日用品の輸入・製造・流通

市場環境

アフリカ大陸は「21世紀最大のフロンティア」とも呼ばれ、成長の可能性にあふれています。アフリカ全土の総人口は、現在の15億人から、2050年には世界人口の1/4を占める25億人*を見込み、急速な人口増加が予測されています。特に若い世代を中心とした人口の増加はアフリカ市場の魅力となっており、アフリカの経済成長率は世界の成長率を上回ることが期待されています。

* 出典: 国連世界人口推計2024年版

事業展開

- モビリティ SBU
- グリーンインフラ SBU
- ヘルスケア SBU
- コンシューマー SBU

モビリティSBU



コンシューマーSBU



グリーンインフラSBU



ヘルスケアSBU



TOPICS

アフリカにおける再生可能エネルギー事業を加速

当社グループのAeolus社が、Scatec社と共に、チュニジアにおいて当社初となる太陽光発電所(合計100MW)のIPP事業に参画しました。アフリカ各国の状況に適した再エネ電源の開発・導入量拡大を目指していきます。

建設中の太陽光発電所



VOICE

チュニジアでの太陽光発電プロジェクトは、Aeolus社との強固なパートナーシップを象徴しています。チュニジアにおけるエネルギー多様化やガス依存の削減に貢献し、再生可能エネルギー分野でのさらなる連携につながるものと確信しています。持続可能な未来への一步を共に築けたことを心から嬉しく思います。



Scatec社
CEO
Terje Pilskog